

住民の主体性を刺激する文化コミュニティの拠点

NICHINAN I dea PLACE

『思い付きをカタチに。
日南での暮らしをもっと豊かに、もっと楽しく。』

01. RESEARCH

Reserch をもとに SWOT 分析 SWOT クロス分析を行い、
日南町が抱えている問題や、必要な要素を抽出する。

強み

SDGs に関心が高まっている
木産物出荷額の高まり
移住定住を促すシステムがある
美しい自然環境
FSC 認証制度など、森林を活用した
町づくりに取り組んできた

弱み

高校でまちを出る人が多い
高齢化率が非常に高い
アクセスが悪い
中山間地域である

機会

リモートワークへの関心
国内旅行者の増加
三密を回避できる
森林浴による免疫機能の向上が
立証されつつある
デジタルデトックスの風潮

脅威

電波が悪い地域がある
雇用のミスマッチ
外出自業

積極化戦略

国内旅行者に定住を促すシステム
木産物や自然環境を生かした
観光ツアーの開催
美しい自然の中での教育活動
美しい自然の中での
デジタルデトックス

段階的戦略

日南町の文化を発信する場の整備
お年寄りや子供など、地域の
幅広い主体同士を連携させる仕組みづくり
町に留まって活動できる場やきっかけの提供
町の活動が継続できるような仕組みづくり

日南町の人々の活動を持続可能にさせる環境整備が必要

差別化戦略

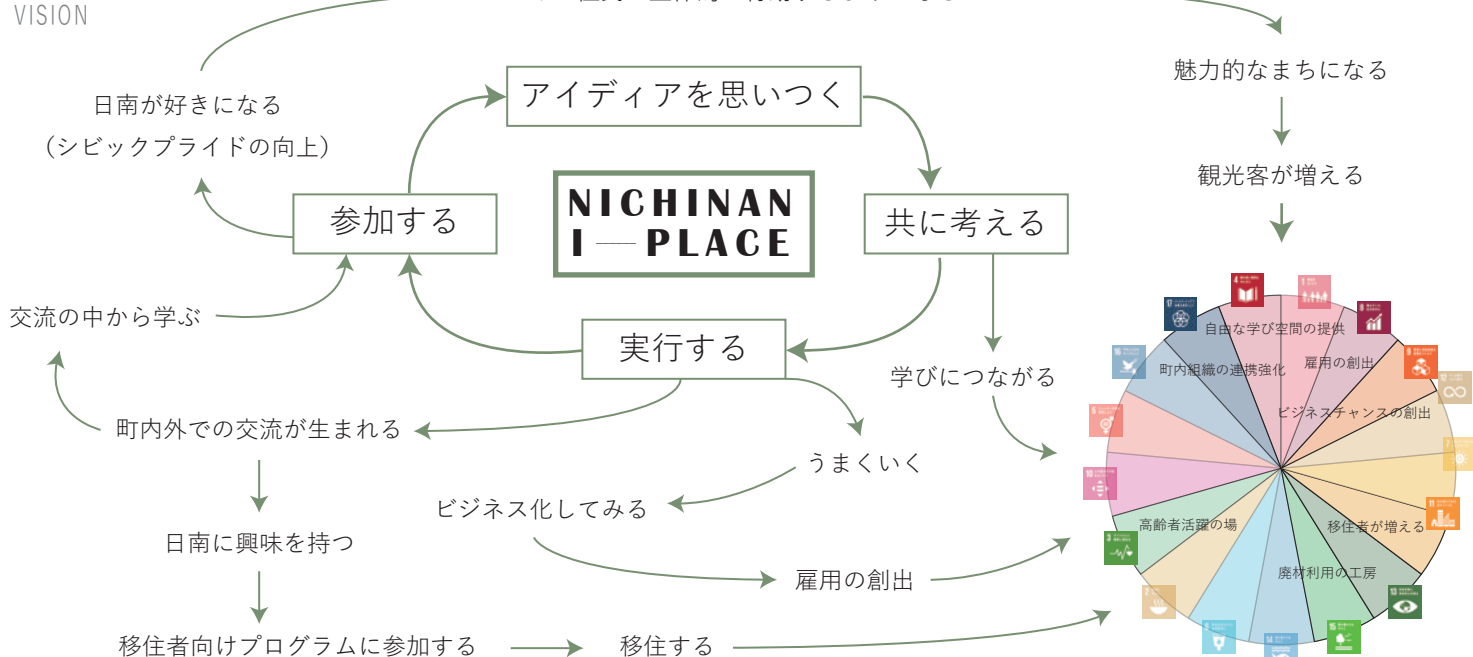
自然環境などの魅力を生かした雇用創出
移住システムを生かして雇用を増やす
日南町でしかできない
アナログな体験の享受

専守防衛

高齢者が輝く事業
地元で働きたいと思えるような環境づくり
地域内で雇用を創出し、人材を活かす
継続的に主体的な活動を行える環境の整備

02. VISION

住民が主体的に行動するようになる

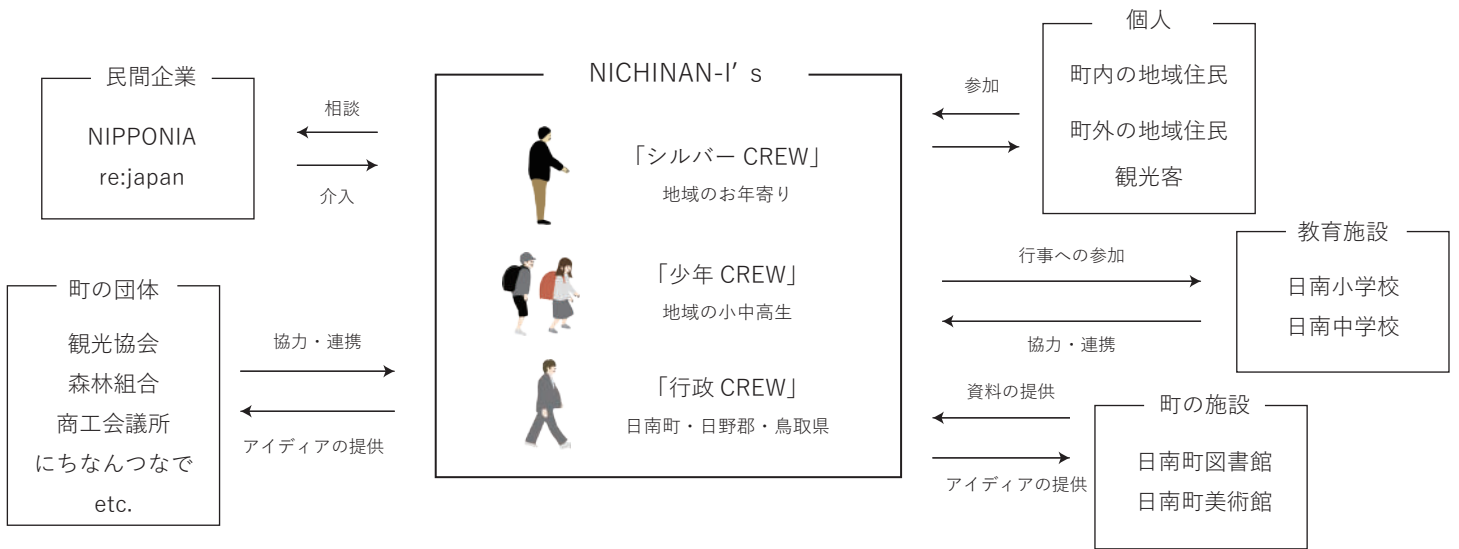


I-PLACE での活動が町全体に広がり、日南町を持続可能なまちへと変化させていく

03.

ORGANIZATION

NICHINAN-I' s (にちなんあいず) とは町民のアイデアを形にする際に必要な準備や、施設自体の運営を行う営利団体であり、「シルバー CREW」「少年 CREW」「行政 CREW」により構成される。イベントの運営や施設利用料により得たお金を事業資金とする。



多様なステークホルダーにより、施設運営の持続可能性を実現

04.

STORY

I-PLACE でアイデアを思い付き、仲間を集めて共に考え、カタチにするまでの STORY 紹介。

思い付く

1.September



英語の本を読んで、海外に興味を持ち、日南に外国人を招きいれ、交流することは出来ないかと思いついた。

言語本の板間



共創する

15.February



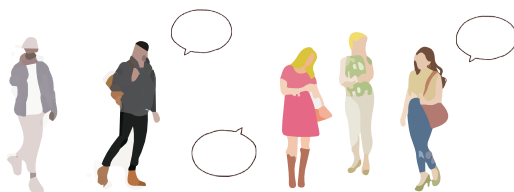
日本特有の文化である雪見障子が目に入り、外国人を招くだけでなく、異なる文化を共有できるイベントの開催を決意し皆で話し合った。

雪見障子の板間



カタチに

6.May



日南の木材で海外の工芸品を作るワークショップを開催し、文化を共有することが出来た。また、多くの人に日南町に興味を持ってもらうことが出来た。

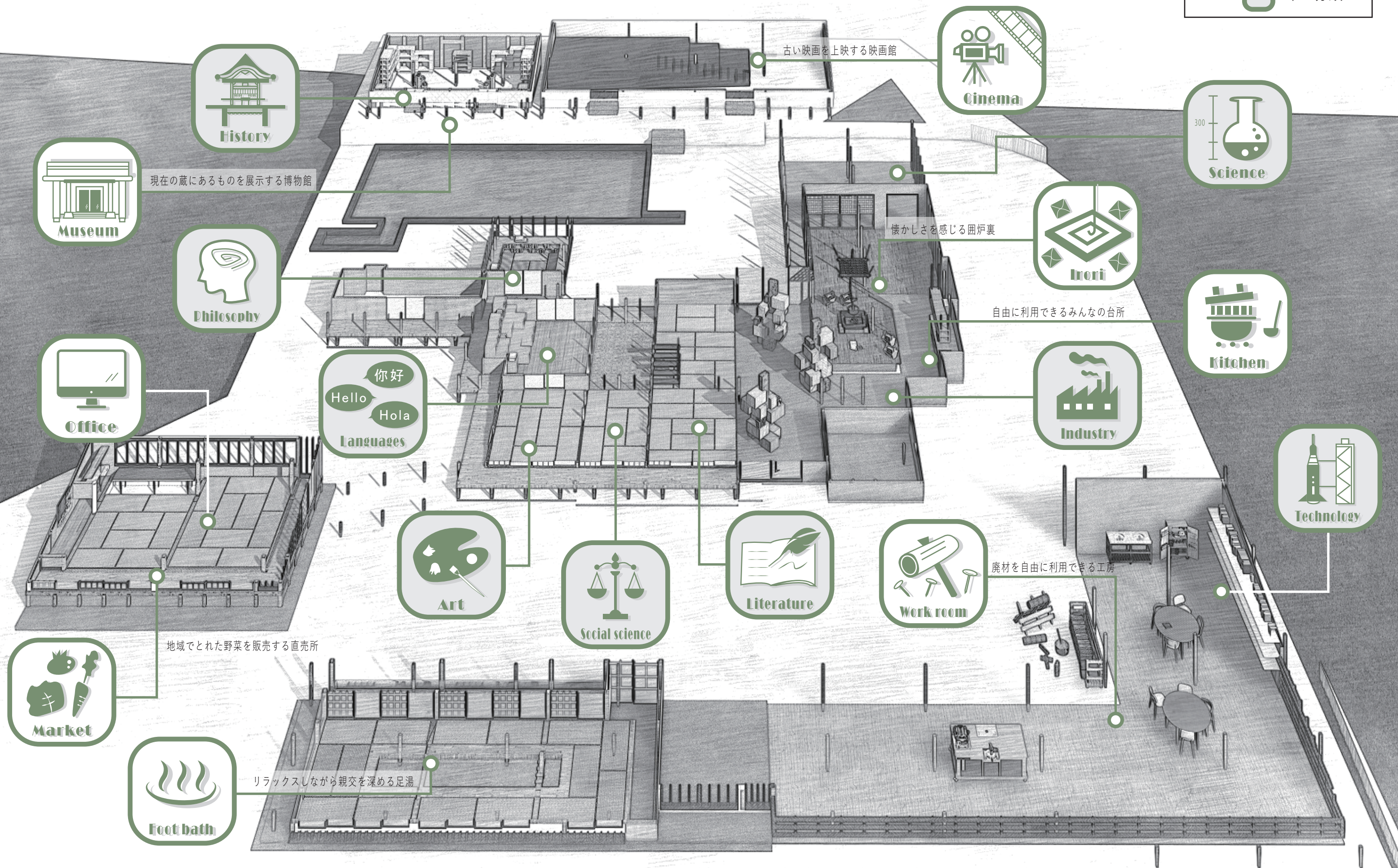
屋外工房



I-PLACE の主な用途は図書館である。「日本十進分類法」をもとに分類わけされた本が、場の特性に合わせ各部屋に割り当てられており、訪れた人々の【思い付き】を刺激する。本の周りには【思い付き】を【共創する】ため人々の距離を近づける空間と、【カタチにする】手助けとなる装置を配置することで、Ideaの宝庫としてのI-PLACEを実現した。

凡例

- 部屋の機能
- 本の分類





木下家の伝統を学ぶ

映画を見る

屋根の下で遊ぶ

雪見障子を通して景色を眺める

池や山を見ながらくつろぐ

木を囲んで本を読む

思いついた料理をシェアする

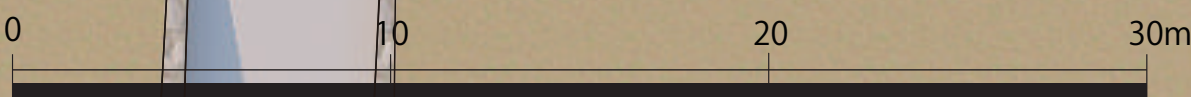
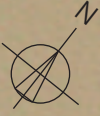
みんなで勉強した後に遊ぶ

入って目についた本を手にする

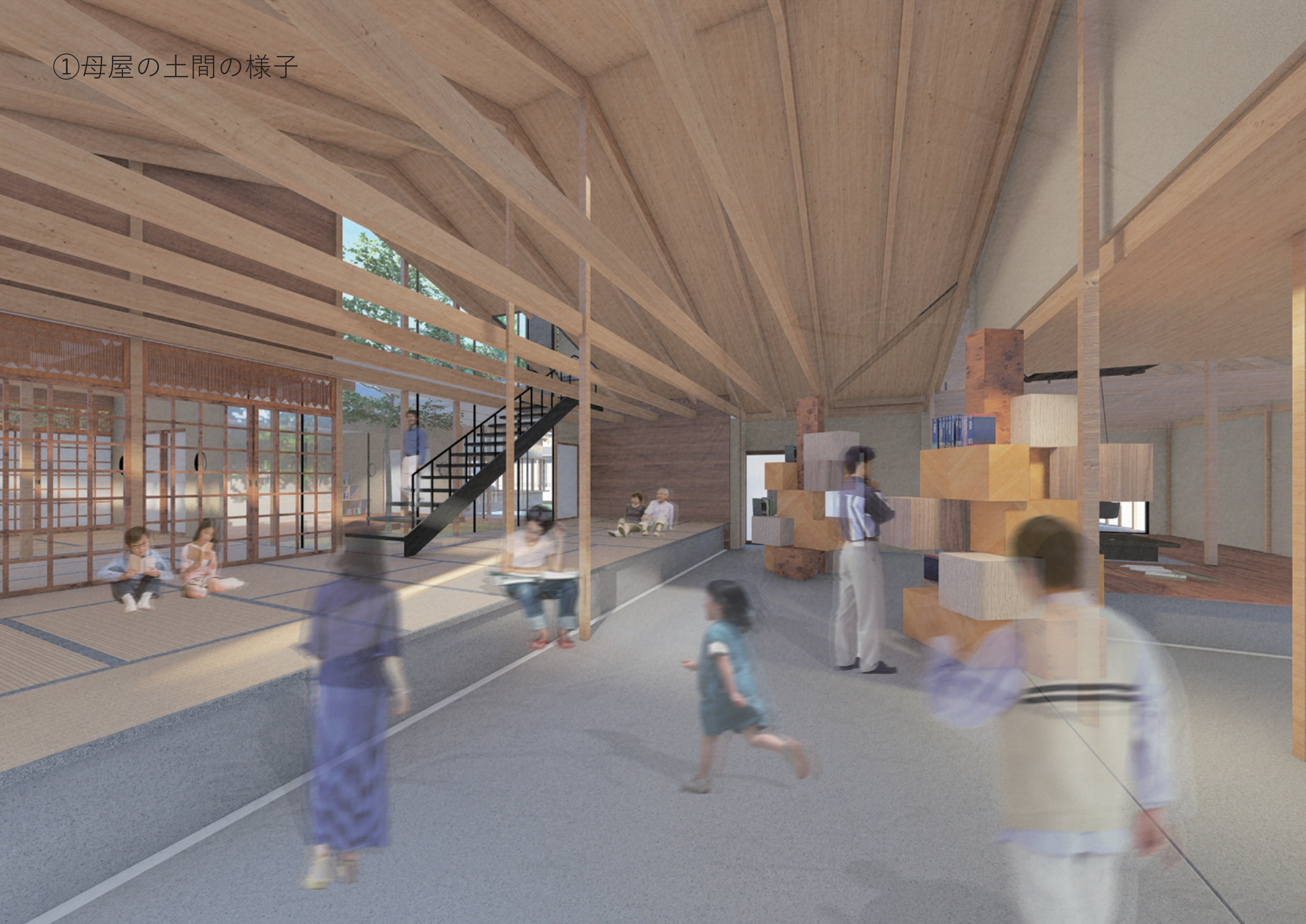
地域の野菜を購入する

話しながら足湯を楽しむ

日南の木材で日曜大工をする



①母屋の土間の様子



②工房から管理棟を望む

